

被爆 74 周年広島平和記念式典 広島市長核兵器止条約発効求める

今年も市内小学6年生28人が広島平和記念式典に参加。代表が25日の甲賀市戦没者追悼式で報告

広島に原爆が投下されてから74年となる6日、広島市の平和記念式典が、平和記念公園で行われ、5万人が参列しました。

この式典に、甲賀市の小学6年生28人が参加。それぞれの学校の児童、先生からの千羽鶴が託されました。語り部さんから聞いた話など、今後報告を予定しています。

5日の出発式（写真）には甲賀市平和委員会からも激励に。

25日の甲賀市戦没者追悼式では参加者の代表が報告されることになっており、毎年、感動的な報告が寄せられています。

この平和事業は旧水口町時代から引き継がれ、日本共産党は一貫して参加枠の拡大を求めてきました。予算は146万円。



共闘による勝利、今後の国会活動で協力 嘉田新参院議員が日本共産党本部訪問、 志位委員長、小池書記局長が応対

参院選滋賀選挙区で野党統一候補として自民党現職を破って初当選した嘉田由紀子新参院議員が26日、日本共産党本部を訪れ、志位和夫委員長、小池晃書記局長、穀田恵二国対委員長と懇談しました。共闘による勝利を喜び、今後の国会活動で協力を進めていこうと親しく語り合い、固く握手を交わしました。

嘉田氏の選对本部長を務めた国民民主党県連の徳永久志代表、日本共産党の石黒良治県委員長らも同席。

今回の勝利は、32の一人区すべてで野党統一が実現し、6年前の2議席から10議席に前進した「野党共闘」によるもので、国会での協力が集まります。

要求実現・近況

国道307号勅旨信号の渋滞解消のための「右折だまり」（枚方方面行）が8月から供用開始。渋滞解消が期待されます。近市議員は6月議会でも取り上げ、これまで3回にわたり求めてきたものです。（小西喜代次）



退職による看護師不足が原因



公立甲賀病院5月から48床休床、早期再開で役割発揮を

湖南市・甲賀市圏域の医療の中核的役割を担っている公立甲賀病院が、看護師の退職で看護師数が減少したことによる夜勤業務等の負担軽減を目的に、5月1日より、一病棟48床が休床されています。早期再開で地域の中核病院の役割が求められます。

甲賀病院は本年4月から、「公立」から「地方独立行政法人」に移行しました。日本共産党は市議会でも病院組合議会でも地方独立行政法人化には反対しました。

病院組合議会議員の小西議員は、昨年10月の病院組合議会で、地方独立行政法人となった大津市民病院で大量の退職者が出た例を示し、公務員の身分がなくなる将来不安から、退職者が出ることを指摘し、万全の対策をとることを求めましたが、残念ながら今日の事

態となつていきます。病院の許可病床413床に変更はありませんが稼働病床は、48休床で365床となります。病院理事会は休床後、一日平均患者数330人（365床の90%稼働）以上を目指すとしています。が、早期に48床を再開し、市民のいのちと健康を守る本来の役割を発揮することが必要です。

また、病院組合議会には5月28日付で通知があったのみで、市民にも周知されておらず、病院理事会の説明責任も求められます。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2019年 8月 11日 第273号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次

信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696